



# 松田権六の仕事場

## 関連資料展示

会期 2025.12.9 -2026.3.1

### 松田権六の道具

#### 左ケース

- 1 : 鯨籠（くじらべら）
- 2 : 中尊寺金色堂の解体修理の時に出てきた平安時代の刷毛を模して作られた刷毛
- 3 : 檜の皮で作った箋
- 4 : 上塗り専用の刷毛
- 5 : 地塗り専用の刷毛
- 6 : 細く塗るための刷毛
- 7 : 小刷毛
- 8 : あしらい毛棒（けぼう）・・・蒔絵粉を扱うための筆の一種
- 9 : 鰐甲製の蒔絵筆用の洗い箋
- 10 : 大小の針金で作られた「引搔き」用筆
- 11 : ぶんまわし・・・コンパス
- 12 : 犬牙（けんき）・・・柄の先に犬の歯を取り付けた道具
- 13 : 鯛牙（たいき）・・・柄の先に鯛の歯を取り付けた道具
- 14 : 各種蒔絵筆
- 15 : 粉筒（ふんづつ）
- 16 : 塗師刀（ぬしがたな）
- 17 : 槍鉈（やりかんな）
- 18 : 彫刻刀や各種の切出小刀

### 遺愛の品々

- 19 : フェルト帽
- 20 : 腕時計
- 21 : 筆記用具
- 22 : 眼鏡

### 粉簞笥の引出

#### 中央ケース

- 23 : 粉鎮（ふんちん）  
・・・蒔絵用の金銀粉を入れた粉包みを押さえるために用いる重し
- 24 : 粉匙（ふんさじ）・・・蒔絵用の金銀粉をすくうのに用いる小さじ
- 25 : 鳥軸製粉筒
- 26 : 爪盤（つめばん）・・・蒔絵を描く際に漆をのせておく小さなパレット
- 27 : あしらい毛棒
- 28 : 払い毛棒

### 特集展示：季節を告げる

#### 中央ケース

- 29 : 松田権六《銀杏蒔絵盆》1984年
- 30 : 山口松太《油柰堆錦秋短冊箱》2020年
- 31 : 荒川豊蔵《志野練上手茶碗 霜朝》1949年
- 32 : 森陶岳《備前茶碗 夕雲》1982年
- 33 : 加藤唐九郎《志野茶盃 雪の朝》1971年
- 34 : 黒澤千春《銀平文螺鈿箱 薄氷》1986年
- 35 : 田口善国《ススキ蒔絵棗》1990年
- 36 : 田口義明(善明)《秋蒔絵棗》2002年
- 37 : 田口善国《森の空蒔絵大棗》1983年
- 38 : 松田権六《松文蒔絵平棗》1969年
- 39 : 北村昭斎《玳瑁螺鈿小箱 みのり》1988年

### 蒔絵で使われる素材

- 40 : 夜光貝
- 41 : アワビ
- 42 : メキシコアワビ
- 43 : 貝の真珠層部分を薄くはいだもの
- 44 : 卵殻（ウズラ）
- 45 : 象牙
- 46 : 平文用の各種素材